

一般会計決算に対する討論

平成25年度一般会計決算は、9月定例会最終日に認定されました。この議決に先立ち、同決算に対する討論が行われ、4人の議員から賛成意見が、4人の議員から反対意見がありました。その概要は次のとおりです。

賛成

果的・効率的に活用し、本市のさらなる発展に尽力されることを願ひ、本決算に賛成する。
(かわせみ)

(新政会)

●歳入は、市税全体では増収となったものの、個人市民税は減収となった。歳入総額も減収していることから、引き続き財源確保に努めてもらいたい。歳出を「5つの力」で「元気の力」では、少子高齢化の進展を踏まえ、保健福祉センターの建設事業に着手したほか、がん検診の充実が図られており、評価できる。「産業の力」では、スマートインターチェンジの開通に向け各種事業が実施された。積極的に企業誘致や観光振興に取り組み、本市の魅力を発信してもらいたい。「教育文化の力」では、土曜まなび場の増設や城山中学校武道場の建て替えなどが実施され、将来を担う子どもたちのための環境整備がなされた。「環境の力」では、綾瀬スポーツ公園の整備も終盤を迎えているが、引き続き地域の憩いの場である公園の適正管理をお願いする。「安全・安心の力」では、集中豪雨に対する浸水対策の検討や防災総合ガイドの配布などが行われた。今後も、限られた予算の中で最大の効果を上げ、市民の生命と財産を守る事業を実施することを目指す。以上、決算を振り返ったが、目まぐるしい経済情勢の変化に柔軟に対応すると同時に、限られた予算を効

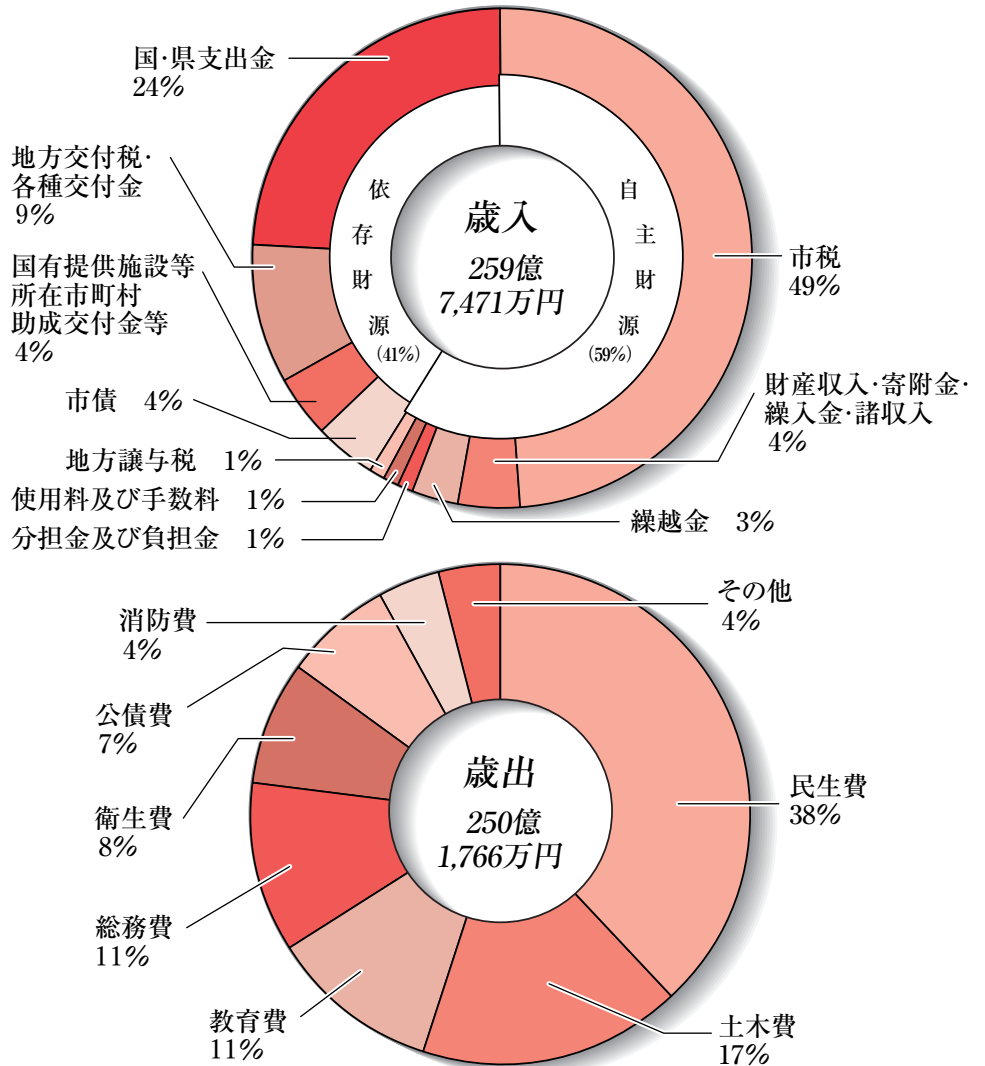
●平成25年度決算の主な成果を見ると、歳出では、福祉・介護・保健・医療の集約と連携強化を図るため、保健福祉センターの建設に向け具体的な事業に着手したことや、要介護者と家族の方が待ち望んでいた市内3カ所目の特別養護老人ホームが開所したこと、さらに、認可保育園が1園増えたことで、子育て環境の充実が図られたことなどが挙げられる。また、全国的に多発する集中豪雨に備え、浸水が発生しやすい市内3地域に、抜本的な対策を講じるための調査と計画策定に着手したことは、安全・安心な生活を求める市民にとって真に必要な施策であり、計画策定の上、1日も早い整備完了をお願いする。一方、歳入は「経済の好循環によりデフレ脱却を目指す」現政権の経済政策効果が大企業を中心に表れつつあるものの、一般財源の根幹をなす市税は微増と、本市の財政に影響を及ぼすまでには至っておらず、今後の経済動向に期待するところである。また、市債の借入を抑制し、市債残高を毎年減少させ続けていくことは、将来の財政運営の負担軽減を図り、安定した市政運営と健全財政の維持のためには不可欠なもの

●平成25年度決算を中長期的な財政運営の観点から検証する。自主財源額は、前年度比1億5000万円の減となったが、自主財源比率は1.3ポイント上昇した。市税の収入未済額は、前年度比6500万円の減で担当職員の努力が見える。財政の硬直化を招く要因に挙げられる義務的経費のうち、人件費は、職員数が5年前から21人削減されている。業務量が増え続ける中、創意工夫により人件費を削減した取り組みは評価できる。扶助費は、増加傾向を示しているが、国の社会保障制度に左右されるため、歳出抑制は難しいものと理解する。次に、法令に基づき算定された各種指標や比率によると、健全な財政状況が維持されていることが分かる。中でも、将来負担比率は5年前に比べ56ポイント以上減少しており、市債借入額の抑制などに努めた成果と感じている。今後は、老朽化した下水道施設の改修なども必須であり、事業費の平準化を課題として捉え、将来を見据えた財政運営をお願いする。以上、決算を振り返ると、総じて健全財政が維持されていることが確認できる。しかしながら、経済情勢は依然不透明で

あり、気を許すことなく、大胆な事業展開と、新たな発想により、職員一丸となって地域課題に取り組まれることを要望し、本決算に賛成する。
(公明党)

●平成25年度決算を事業別に見ると、「元気の力」では、子育て家庭をサポートする乳児家庭全戸訪問の実施は、育児に関する問題を未然に防ぐ上で重要な施策と考える。このまのまにミニあやせは、職業疑似体験を通し、社会の仕組みを学ぶことができる意義深い事業と評価する。「教育文化の力」では、家庭学習の習慣化を図るための土曜まなび場や読書活動の推進に期待するところであるが、今後、学習理解度に相応させるためには、さらなる検討が必要と考える。「安心・安全の力」では、広域避難場所案内表示板のユニバーサルデザイン化を高く評価する。財政面を見ると、市債は16億9497万円の減、債務負担行為残高は5億8305万円の減、基金残高は1億938万円の増といずれも改善されている。これは投機的経費が、前年度比12億3700万円の減、物件費が1億2674万円の減となつていくことが要因と考える。財政の弾力性を示す経常収支比率は、96%と良好な数値であるが、今後は、扶助費の増加が見込まれるため、決算審査意見書に記載があるとおり注意が必要である。継続的なプライマリーバランスを維持するため、他地域の変化や経済状況を注視するとともに、計画的な事業執行を期待し、本決算に賛成する。

一般会計決算歳入・歳出の状況



平成25年度各会計の決算規模

会計名	歳出決算額	昨年との比較		
		増減	伸び率	
一般会計	250億1,766万円	△10億8,691万円	△4.2%	
特別会計	国民健康保険事業	97億9,301万円	2億6,473万円	2.8%
	下水道事業	29億8,088万円	1億788万円	3.8%
	深谷中央特定土地区画整理事業	7億4,288万円	1億3,975万円	23.2%
	介護保険事業	36億1,528万円	2億4,708万円	7.3%
	後期高齢者医療事業	6億9,061万円	3,466万円	5.3%
	計	178億2,267万円	7億9,409万円	4.7%
合計	428億4,032万円	△2億9,281万円	△0.7%	

1月22日、ロケとグルメで地域活性化事業に取り組み、あやせ商業者パワーアッププロジェクト主催による特産品開発試食会が開催されました